

3月定例会・議案など	2～3
委員会等活動報告	3
3月定例会・一般質問	3～7
議案等に対する各議員の賛否状況	6～7
議員の行政視察など	8

平成29年1月1日から平成29年4月1日までの出来事を掲載しました。



タイトル：弘前公園ケヤキ並木  
撮影者：蛭田 和子さん

## 議 会 ト ピ ッ ク ス

### 国民健康保険の保険料率が改定されます

平成29年第1回定例会において「弘前市国民健康保険条例の一部を改正する条例案」が慎重審議の結果、可決成立いたしました。これによって、国保世帯1人当たりの保険料率が平均5%増になります。今回の料率改定は、現在17億7千万円の累積赤字を抱えている弘前市国民健康保険の赤字体質（参考：平成27年度は8億4百万円の赤字、平成26年度は3億1千万円の赤字）を解消するためのものです。

なお、弘前市は、平成31年度に赤字解消計画の見直しを行うものの、保険料率は平成34年度まで改定することなく据え置く方針であると答弁しています。

※2ページに平成29年度弘前市国民健康保険特別会計予算案に対する反対・賛成討論を掲載しています。

#### 1人当たり平均5%増の状況

被保険者数48,427人、国保加入世帯数28,526世帯で試算

区分	現行	改定後	増額
1人当たり	96,082円	100,886円	4,804円
1世帯当たり	163,113円	171,269円	8,156円

#### ○39歳以下か65歳以上の1人世帯の場合の例

現行	改定後	増額
19,000円	19,700円	700円
54,500円	57,100円	2,600円
153,300円	161,100円	7,800円

#### ○40歳以上65歳未満の1人世帯の場合の例

現行	改定後	増額
23,500円	24,600円	1,100円
67,200円	71,000円	3,800円
188,600円	200,200円	11,600円

※表中の金額は全て年額です。

# 平成29年第1回定例会

## 市長提出議案 32件

### 主な議案

#### 3月補正後の平成28年度予算

一般会計 859億6743万6千円  
 (3月補正額 1億6930万2千円)  
 特別会計 465億1831万5千円  
 (3月補正額 ▲7億7141万8千円)

○平成28年度弘前市一般会計補正予算(第10号)  
 保育所等におけるICT化を推進し、保育士の業務負担の軽減を図るため、保育支援業務システムの導入に要する経費の一部を補助する私立保育所等ICT化推進事業費補助金を計上するものです。  
 補正額 3817万9千円

○弘前市都市公園条例の一部を改正する条例案  
 弘前市運動公園野球場の改修に伴い、同野球場に係る使用料の額を改定するなど、所要の改正をしようとするものです。

○弘前市経営計画の一部変更について  
 新たな施策等を追加するなど、弘前市経営計画の一部を変更することについて、弘前市議会の議決すべき事件を定める条例本則第1号の規定により、議会の議決を求めるものです。

### 経営計画審査

経営計画特別委員会を設置し、弘前市経営計画の一部変更について審査を行いました。

#### 改訂のポイント

- ①経営計画に位置づける各施策の評価に基づく改訂
- ②経営計画の最重要課題である人口減少対策の強化
- ③次期計画を見据えた改訂

### 主な事業(新規・拡充)を抜粋【分野別】

ひとづくり	まちづくり
子ども医療費給付事業、多子家族学校給食費支援事業、多子家族上下水道料支援事業、東京オリンピック・パラリンピック合宿誘致事業など	弘前城重要文化財保存修理事業、空き家・空き地の利活用事業、廃棄物処理計画推進事業など
くらしづくり	なりわいづくり
中学生ピロリ菌検査事業、大腸がん無料クーポン事業、大腸がん早期治療支援事業、就労準備支援事業(生活困窮者自立支援制度)など	りんご産業イノベーション戦略推進事業、弘前さくらまつり100年記念事業、ひろさきライフ・イノベーション推進事業など
	戦略推進システム
	「花」で彩るまちづくり推進事業、いいかも!!弘前応援事業など

### 平成29年度当初予算審査

一般会計 778億4000万円  
 (前年度当初予算との比較 26億2000万円減、3.3%減)  
 特別会計 448億2752万1千円  
 (前年度当初予算との比較 5億5354万6千円減、1.2%減)

平成29年度予算案に対する反対・賛成討論の要旨を以下に掲載します。

#### 一般会計予算案に対する討論

- |   |   |
|---|---|
| <p>○<b>反対の要旨</b> 以下の理由で反対する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不要、不急の大型公共工事、箱物事業が優先な点</li> <li>・イベント、ばらまきなどの市民無視の予算である</li> <li>・福祉充実、暮らし応援、教育充実などの市民生活応援の予算ではないこと</li> </ul> | <p>○<b>賛成の要旨</b> 以下の理由で賛成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに係る経済的負担軽減への取り組み</li> <li>・高齢者や障がい者などへの支援拡充や健康づくりの充実に資する施策の積極的な展開</li> <li>・中長期的な財政運営に配慮している</li> </ul> |
|---|---|

#### 国民健康保険特別会計予算案に対する討論

- |   |  |
|---|--|
| <p>○<b>反対の要旨</b> 以下の理由で反対する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平均5%増の保険料率改定が含まれている</li> <li>・累積赤字17億7千万円への責任の曖昧さ</li> <li>・一般会計法定外繰入を増額すべき</li> <li>・改定に至る経緯が不透明</li> </ul> | <p>○<b>賛成の要旨</b> 以下の理由で賛成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組み可能な対策により近年保険料収納率が上昇</li> <li>・政策的繰入、料率改定により3年間は単年度黒字が見込まれる</li> <li>・平成34年度までさらに引き上げはしないとの答弁</li> </ul> |
|---|--|

### 人事案件 2件

- 弘前市教育委員会の委員の任命について(1名)  
高木恵美子氏(新任)
- 人権擁護委員候補者の推薦について(2名)  
玉川光幸氏(新任)、佐藤美津子氏(新任)

## 一般質問

質問・答弁の要約を掲載いたします。  
 ※敬称略。( )は所属会派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。



佐藤 哲 (弘新会)

### 少子化問題を問う

**問** 合計特殊出生率向上と公的支援は。  
**答** 当市の人口動態は、出生数の減少と県外転出超過が人口減少に拍車をかけており、出生率が低い背景には、学生が非常に多いことが関係している。市では子どもを希望する夫婦の経済的負担を軽減するため、特定不妊治療費を助成しており、29年度からは、一般不妊治療も助成する予定である。また、経済的負担の軽

減として、保育料と子ども医療費の負担軽減の拡充、多子家族の学校給食費と上下水道料金の負担軽減を図る。  
**問** 現金給付と現物給付の必要性は。  
**答** 子育て施策としては、現金給付も重要だが、若い世代には現物給付で生活にゆとりが生まれると考えている。安定した長期間の支援が、将来的な合計特殊出生率の向上につながると考え、様々な分野と連携して子育て支援に取り組む。



時苗 博英 (自民・公明・憲政)

### 弘前版DMOについて

**問** 市が捉える必要性・方向性について。  
**答** 市では地域経済への効果をより高める方策と考え、昨年9月に「弘前版DMO研究会」を設置、データ分析と明確なコンセプトに基づいた戦略による観光地経営に取り組む。方向性としてはマーケティングによる調査・分析・戦略立案を担う組織とするため、組織体系・運営方法等検討し、29年度の登録申請を目指す。

**社会体育施設スキー場運営状況について**  
**問** 社会体育施設に移行したことによる利用者の状況・運営状況の変化は。  
**答** 入り込み数は百沢スキー場で2割上回り、ロマンピアスキー場は2割下回る結果となっている。両スキー場の使用料については今後アンケート結果をしっかりと分析しながらシーズン毎に検討し、より多くの人に利用していただけるように努める。



野村 太郎 (自民・公明・憲政)

### 子育て支援事業について

**問** 平成29年度における子育て施策の拡充・新規施策は何か。  
**答** 保育料の軽減の拡充、子ども医療費の給付対象の拡大、積極的な保育環境・保育所等の整備のほか、3人以上の多子家族に対する学校給食費及び上下水道料金の軽減の、五つの施策に取り組み、「子どもたちの笑顔あふれるまち弘前」の実現に向け、さらに一歩前進していく。

**弘前版生涯活躍のまちについて**  
**問** 平成28年3月に「弘前版生涯活躍のまち構想」を策定したが、進捗状況は。  
**答** 今年度は国の地方創生推進交付金による財政支援や「地域再生計画」の認定を受け、3月末には移住者の受け入れを開始予定。今後は、関係団体等による協議会を設置、事業運営のあり方等の協議を深め、先駆的なまちづくりのモデルとなるよう取り組んでいく。



鳴海 毅 (自民・公明・憲政)

### 障がいのある子供たちへの支援について

**問** 市の施策内容について。  
**答** 今年度より当市独自に「ひろさき子どもの発達支援事業」を開始し、障がいのある子供や家族が交流できる場を提供するほか、保育所等へ巡回し障がいの早期発見・対応に係る助言等を行い、幼児期の早い段階から支援する取り組みを実施。また、特別支援学校の生徒による市役所での清掃実習を実施している。

**岩木・相馬地区における地域の魅力づくりについて**  
**問** 市の取り組みについて。  
**答** 岩木地区では高照神社周辺に整備している資料展示施設、温泉を利用した滞在型や避暑地観光などを推進し、「日本で最も美しい村」ブランドの活用も図っていく。相馬地区についてはロマンピアのリニューアルに向けた構想策定に着手し、郊外型観光の強化を図っていく。

## 請願 1件

○治安維持法犠牲者国家賠償法の制定について国への意見書の提出に関する請願書 …… 不採択

## 陳情 1件

○平成29年度からの「国民健康保険料」の値上げをしないことを望む陳情書  
 ※陳情書は議員に参考配付しました。

## 委員会等活動報告

### 議員全員協議会

- 1月17日(火) 市役所
  - ①弘前市国民健康保険料の見直しについて
- 2月6日(月) 市役所
  - ①弘前市経営計画の一部変更について
  - ②一部事務組合等の予算案について
    - ・平成29年度津軽広域連合一般会計予算案
    - ・平成29年度弘前地区環境整備事務組合会計予算案
    - ・平成29年度弘前地区消防事務組合会計予算案
    - ・平成29年度津軽広域水道企業団津軽事業部水道用水供給事業会計予算案
  - ③弘前市上下水道事業経営戦略について
  - ④弘前市国民健康保険条例の一部改正について



伏見 秀人 (弘新会)

弘前市立病院と国立病院機構弘前病院の統合に向けた経緯と移行条件等について

問 合意事項の内容は。
答 救急医療の安定的な確保が図られ、新たな診療機能等の提供により、市民に魅力ある診療体制を整備することを目指し協議を進めている。このほか、運営に市が関われるような仕組みづくりや現市立病院のスタッフの受け入れなど、合意が必要な事項については協定等に明文化



石田 久 (日本共産党)

国民健康保険について

問 高すぎる国保料を5%値上げすることはやめるべき。17億7千万円の累積赤字は、市の責任で解決すべきである。
答 平成29年度以降の保険料率については、3年間は単年度黒字を維持できることや市民の負担感の軽減に配慮することを勘案し、1人あたり平均5%増の改定案を議案として提出したものである。また、累積赤字については、市では国の繰



石岡千鶴子 (弘前市民クラブ)

国民健康保険について

問 17億7千万円の累積赤字に至った経緯と背景は。
答 1人あたり平均17.05%増とする改定を平成22年度に行い、赤字解消を目指したが、収入の減少や増え続ける保険給付費等が要因で解消には至らなかった。
問 5%の引き上げは行わず、累積赤字17億7千万円は全額一般会計から繰り入れすべきでは。



三上 秋雄 (弘新会)

弘前市弥生学園の今後の運営体制と整備事業について

問 児者併設型施設への移行による体制及び環境整備を含めた方針について。
答 現在の施設内で施設整備をおこなう事により、慣れ親しんだ環境での継続した支援が可能であり、急激な変化が生じないようにする。居住棟の住み分けとともに、「児童」は保護や日常生活指導、「18歳以上の方」は生活介護や自立訓練、



鶴ヶ谷慶市 (自民・公明・憲政)

「日本で最も美しい村」加盟承認後の取り組み状況について

問 連合の基本理念、今後の取り組み及び加盟による具体的なメリットを示せ。
答 基本理念は「自然と人間の営みが長い年月をかけて作り上げた本当に美しい日本を未来に残したい、小さくてもオンリーワンの輝きを持つ日本の美しい村を守りたい」となっており、今後は、景観の保全・整備などの地域づくりに取り組

することで確実に担保してまいりたい。一般ごみ排出量の現状と減量化対策等について

問 当市の排出量が多い要因と対策は。
答 大きな要因は全国平均の1.85倍となる事業系ごみの多さが挙げられ、平成27年度に状況把握を実施。28年度からはごみ処理手数料の改定、事業所訪問の強化などの対策を行った結果、排出量が減少し、取り組みの効果がでてきている。

入基準内の一般会計からの繰入を毎年行っているが、基準外の繰入については国民健康保険以外の保険加入者との兼ね合いから実施してこなかったものである。〈その他の質問項目〉

○弘前市立病院新ガイドラインについて
○弘前市立病院と国立病院機構弘前病院の統合について
○介護保険「総合事業」について
○待機児童対策について

答 国保以外の人負担が入っている一般財源のみでの赤字解消は避けるべき、緩やかにでも保険料率を上げていくべきとの国保運営協議会委員の意見を踏まえ、現段階では考えていない。

吉野町緑地周辺整備事業等について

問 18年間で約40億円かかるこの事業は凍結すべきでは。
答 若い世代や子どもたちの未来に向けて事業は推進していく。

職業指導など明確にサービスが区分される。職員体制は看護職員や生活支援員等の加配を行い支援サービスを提供する。環境整備については、平成29年度中にトイレ等の整備のほか避難口のスロープ改修や防犯カメラの設置など、入所者が安心して生活できる体制を整えていく。
〈その他の質問項目〉
○小・中学校の環境整備について
○今冬の市の除雪について

み、病気等により欠木が生じている「世界一の桜並木」の植栽事業や、連合に加盟している田子町や佐井村等と連携した事業も検討する。メリットは、交流人口の増加や、連合の様々な分野のサポーター企業会員との連携により「嶽きみ」など農産品の価値が高まるほか、海外への情報発信等によりインバウンド効果も期待しており、効果が岩木地区のみならず市全体に波及することを確信している。



尾崎 寿一 (自民・公明・憲政)

弘前市運動公園はるか夢球場について

問 工事の進捗状況及び完成後のイベント、プロ野球一軍戦の観客輸送を問う。
答 工事の進捗状況は、1月中旬から2月中旬の積雪が平年を上回り一時的に遅れが生じたが6月までには完了予定である。オープニングイベントとして、小学生の野球大会、地区中学校体育大会、女子ソフトボール東アジアカップ、社会人野球の全日本クラブ選手権青森大会、プ



千葉 浩規 (日本共産党)

家庭系ごみの有料化について

問 私たちのところに寄せられている声は、どれも「家庭系ごみの有料化はやっばりおかしい」「有料化に納得していない、撤回しかない」という声。この市民の率直な声を力に質問。何故、条例改定が必要なのか。どのような関係条例改定を想定しているか。
答 家庭系ごみの有料化を実施する場合には、地方自治法第227条及び第228条第



加藤 としよ (弘前市民クラブ)

米粉の利用拡大について

問 利用拡大状況及び当市の学校給食メニューへの利用はどうなっているのか。
答 国は米粉の利用拡大を図るため、菓子用、パン用、麺用に分類した用途別基準の策定やノングルテン米粉製品の表示ルールのガイドライン策定に着手。用途別分類と表示が始まれば新たな需要の掘り起こしが期待される。公益財団法人青森県学校給食会が米粉の利用拡大に努め



今泉 昌一 (無所属クラブ)

学校における読書教育の実態について

問 学校図書館の活用は学校間で格差があるのではないかと。活用が不十分である。
答 図書の貸出には様々な方法がとられているため正確な貸出数を把握するのは容易ではないが、各学校では児童生徒の実態を基に、図書に親しむことなどを学校全体の目標に据えた学校図書館教育全体計画を策定し、読書活動の啓発・充実、図書を活用した授業づくりを図っている。

ロ野球一軍戦、女子ソフトボール台湾チームの合宿、決勝戦まで行う全国高等学校野球選手権青森大会を2か月にわたり実施。プロ野球一軍戦開催時は、球場の駐車場は一般開放せず、弘南鉄道弘南線の増発や車両の増結、弘前駅からシャトルバスの運行などを計画している。
〈その他の質問項目〉
○弘前市立小学校に係る統合案について
○児童のスポーツ環境について

1項の規定に基づき、関係条例の改正が必要になる。仮に、実施する場合の改正が必要となる条例については、「弘前市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」が考えられる。
〈その他の質問項目〉
○新樋の口浄水場建設事業について
○弘前市地域公共交通再編実施計画策定について
○小比内四丁目の水害対策について

ており、当市でも学校給食に平成18年度から米粉パン、22年度から米粉麺、26年度から米粉を使用したデザート提供や米粉を使用したカレーやシチューのルーについても利用を進めている。
〈その他の質問項目〉
○市民課窓口のアウトソーシング
○ごみの減量化・資源化
○子供議会
○福祉行政
○公共交通
○弘前さくらまつり100年記念事業

除雪・排雪について
問 市街地の住宅地では雪置き場が不足しているが、その対策について問う。
答 町会雪置き場事業は町会と空き地所有者が無償で町会雪置き場の土地使用貸借契約を結び、市ではその期間における固定資産税などを減免する制度だが、地域の要望を満たすまでには至っていない。広報や除雪説明会での周知など、より市民に事業が伝わるよう工夫していく。

平成29年第1回定例会日程 (28日間) ○傍聴者の数：延べ53人
2月17日(金) 本会議 開会、会期の決定、提案理由の説明
2月18日(土)～2月27日(月) 議案熟考
2月28日(火)～3月2日(木) 本会議
3月3日(金) 本会議 一般質問
3月6日(月) 常任委員会 建設、総務、厚生 経済文教
3月7日(火) 特別委員会 経営計画審査
3月8日(水)～10日(金) 常任委員会 予算決算
3月13日(月) 常任委員会 予算決算
3月14日(火)～3月15日(水) 議事整理
3月16日(木) 本会議 各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会
平成28年は、延べ399人が傍聴しました。日程をご確認の上、お気軽にお越しください。



掲載内容は一般質問の一部です。正確には会議録をご参照ください。会議録は、市立弘前図書館・市役所などで閲覧できます。また、弘前市議会ホームページの会議録検索システムでもご覧いただけます。一般質問の写真は、平成27年12月以降に撮影した写真を使用しています。



外崎 勝康 (自民・公明・憲政)

教育行政について

問 SNSの明確な管理及び指導について、指導のあり方を示せ。

答 子供たちがトラブルに巻き込まれたとき、迷わず相談できるような学校づくり、先生と子供の信頼関係づくりなどについて、今後も学校を支援していく。

災害・減災について

問 被災者支援システムの現状及び課題などについて問う。

答 システムは平成24年3月に導入したが、被害認定結果の反映や罹災証明書の発行等は習熟度を深める必要があることから職員の研修等体制づくりを進める。

国民健康保険制度について

問 被保険者資格証明書がふえることが予想されるが、どう対応していくか。

答 資格証明書交付後も電話勧奨や訪問などを実施し納付相談につながるよう努め、滞納世帯を減少させていく。



工藤 光志 (自民・公明・憲政)

企業の立地環境整備のあり方について

問 産業用地の確保に向けた実施主体、整備手法について。

答 平成29年度には、庁内にワーキンググループを設置して、先進自治体の視察、産業用地確保に向けたリスクやコストを最小限に抑える整備手法等について、これまで以上に踏み込んだ調査検討を進めていきたい。また、民間主導で用地を整備・確保する手法を研究して、企業が

立地しやすい環境の整備を目指していく。国の動向等にも留意し、食産業、精密・医療産業、アパレル産業といった特徴的な3分野の強化に向けた「産業振興基本方針」や平成28年度に策定した「ひろさきライフ・イノベーション戦略」を踏まえながら、県とも連携して作業を進めていく。

〈その他の質問項目〉  
○指名競争入札執行状況について



松橋 武史 (弘新会)

受動喫煙防止対策・喫煙場所の設置について

問 市の取り組みについて。

答 市としての支援策を「弘前市たばこの健康被害防止対策協議会」において検討していく。

雪道・冬道での自転車運転について

問 ルールを設けるべきではないか。

答 現状では法的に規制するものはない。

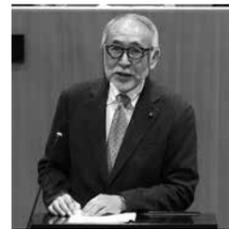
問 当市の高齢者による事故の現状は。

答 高齢者ドライバーの事故件数はほぼ横ばいとなっている。運転免許証については、今後も自主返納を呼び掛けていく。

スクランブル交差点の現在の必要性について

問 当時の設置目的と現在の環境が合致しているか。

答 幹線道路を跨いだ地域交流と事故防止のため設置、現在も必要と考えている。



栗形 昭一 (無所属クラブ)

「県民だよりあおり」「青森県議会だより」配布方法、委託費の使途について

問 委託費は実際に配布している町会に配分すべきと考えるが、その使途は。

答 委託費の使途は各町会へ配布するための配布業者への委託料などに係る通信運搬費等である。なお、広報紙等の配布は、今後、費用や町会への負担等を考慮するとともに県民だより等の配布方法も含め町会連合会等と協議・検討していく。



木村 隆洋 (自民・公明・憲政)

移住促進について

問 今後の市の取り組みについて。

答 30~40代を主なターゲットに、仕事と住まいの支援を強化する。「ひろさき移住サポートセンター東京事務所」に無料職業紹介の窓口を開設し、就業支援に本格的に取り組む。移住する子育て世帯への住宅助成制度の新設と、空き家・空き地利活用制度の拡充により、移住者への経済的負担を軽減する。



越 明 男 (日本共産党)

6月28日開催予定の楽天戦について

問 2月13日に楽天球団から開催要項が発表された。この間の楽天球団と市の協議経過や試合当日の運動公園内駐車場の利用等について問う。

答 本年6月28日のプロ野球一軍戦開催時における、運動公園への観客の輸送方法については、昨年からの市内公共交通機関と協議を重ね、他県での興行実績がありノウハウを持つ楽天野球団を交えなが

吉野町緑地周辺整備事業及び美術館について

問 駐車場整備はどう考えているか。

答 「要求水準書」では緑地南面に整備する場合600平方メートル以下と規定しており、1台当たりの駐車面積を14平方メートルと仮定すれば通路スペースを含め25台程度が収容可能となり、事業者は原則、債務負担行為及び繰越明許費の総額42億1000万円の中で実施する。

教育行政について

問 教育現場におけるICT活用を問う。

答 平成28年度に全ての市立小・中学校に実物投影機と電子黒板機能付きプロジェクターを配備し、ICT機器を使用した授業に取り組んでいる。今後は、教員のICT活用能力の向上を早期に図る。〈その他の質問項目〉  
○マイナンバー ○ひろさき記学 ○市民との協働によるまちづくりの現状

ら、検討を重ねてきたところである。プロ野球一軍戦を実施する東北各県では、渋滞などの混乱を避けるため、いずれも球場にある駐車場を一般に開放しない運用としていることを踏まえ、当市も同様の対応をとることとした。〈その他の質問項目〉  
○市長の海外出張について  
○特別徴収税額の決定通知書へのマイナンバー記載について

議案等に対する各議員の賛否状況

議案は、○は賛成、●は反対。請願は、○は採択、●は不採択。欠は欠席、-は採決に加わらなかったもの。議長(下山文雄)は採決に加わっていません。※賛否が分かれた議案等のみ掲載しております。

Table with columns for proposal names and 15 council members (Matsubashi, Sasaki, Kudo, etc.) with symbols indicating their stance.

議会を傍聴しませんか

議会(本会議、委員会など)は原則、どなたでも傍聴できます。

市役所本館4階で受付していますので、お気軽にお越しください。

Attendance table for council members with columns for names and symbols indicating attendance.

平成29年第1回定例会審議結果

※議会での慎重審議により、承認、可決、同意となりました。

- 市長提出議案: 32件
予算関係: 16件、条例関係: 10件
経営計画: 1件、その他: 5件

平成29年第2回定例会日程(予定)

- (5月26日(金)) 議会運営委員会 会期日程等の協議
6月2日(金) 開会日(本会議) 開会、会期の決定、提案理由の説明
6月23日(金) 閉会日(本会議) 各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会
※日程については、議会開会前にホームページ等でご確認ください。

定例会の一般質問のラジオ放送

本会議の傍聴やインターネットでの中継視聴ができない方のため、ラジオ放送もしています。FMアップルウェーブ(周波数78.8メガヘルツ)で、一般質問の様子を当日午後8時から放送します。※緊急時、災害時には変更される場合も有り

# 議会事務局が移転しました

市役所本庁舎の改修工事に伴い、議会事務局が移転しました。場所は配置図のとおりです。

※10月上旬には元の場所に戻る予定です。

弘前市役所 本庁舎4階



立体駐車場側

弘前公園側

- トイレ
- 階段
- エレベーター

下記の内容など市議会に関する不明な点は、お気軽に議会事務局へお問い合わせ、またはお立ち寄りください。

- 請願、陳情に関すること
- 傍聴に関すること
- その他、市議会に関すること

## 会派一般行政視察



氷見市ガラス張りの市長室

### 無所属クラブ

1月23日(月)～25日(水)

- ①富山県氷見市
  - 庁舎改修及び活用について
- ②富山県富山市
  - 市立図書館・美術館の運営について



八戸市立南郷図書館にて

### 弘新会

1月31日(火)～  
2月1日(水)

- ①青森県八戸市
  - 八戸市図書情報センター及び八戸市立南郷図書館について

## 行政視察受け入れ

弘前市議会

行政視察受け入れ実績(平成28年度)

→ 77団体、552人

### 主な視察項目

- ①市民参加型まちづくり1%システム
- ②弘前型スマートシティ構想
- ③弘前市駅前こどもの広場
- ④シティプロモーション
- ⑤健幸ひろさきマイレージ制度

受け入れにあたっては、弘前市内での宿泊や食事、お土産のお勧めをしており、実際に多くの方が利用しています。

## 表紙の写真大募集!!



- ◎テーマ 弘前市内で撮影された写真(風景・まつり・イベントなど)
- ◎規格 デジタル写真データ(JPEG形式、サイズ1MB以上、横撮りのみ)
- ◎応募資格 弘前市に在住・在勤・在学の方
- ◎応募方法 写真のタイトル(10文字以内)・撮影場所・撮影日・住所・氏名・電話番号を明記の上、メール、郵送、持参。  
・メールアドレス gikai@city.hirosaki.lg.jp
- ◎締め切り 第49号(平成29年9月発行)の締め切りは平成29年7月10日(月)です。  
また、次号以降の表紙写真についても順次募集いたします。
- ◎応募上の注意 応募写真に個人を特定できるような人物(第三者)が写っているとき、または、撮影した対象物が個人の所有物である場合は、応募者の責任で人物(被写体)、または、所有者の承諾を得てください。(本市議会では第三者からの著作権侵害、肖像権侵害等の請求を一切受け付けません。)  
【詳しくはホームページ、または議会事務局へお問い合わせください。】

弘前市議会ホームページ <http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gikai/index.html>

インターネットによるライブ中継・録画中継、会議録検索システム、議会の日程など、市議会の情報はこちらでご覧いただけます。

弘前市議会 インターネット中継

検索 ▼

弘前市議会 会議録

検索 ▼

